

## 平成23年度当初予算 施策別概要

### 212 職業能力の開発と 勤労者生活の支援

(主担当部：生活・文化部)

- 21201 多様な職業能力開発への支援と技能の継承  
(生活・文化部)
- 21202 いきいきと働くことができる就労環境等の整備  
(生活・文化部)

#### < 施策の目的 >

(対象) 働く意欲のある人が

(意図) 就職や技能向上のために必要な職業能力開発に取り組み、就労環境が整備された職場でいきいきと働いている

#### < 現状と課題 >

- ・ 2008年(平成20年)秋に発生した金融危機の影響により、雇用情勢は急激に悪化し、本県においても多くの労働者が職を失いました。このため、県では離職者等の再就職を支援するため、職業訓練や資格取得助成制度を充実してきたところです。現在も依然として厳しい状況が続いており、引き続き雇用のセーフティネットとして、多様な職業訓練等の提供や離職者等に対する相談窓口の充実等が求められています。
- ・ 我が国の産業界においては、価格・品質競争が激しくなる中、一人ひとりの能力を高めることで生産性を向上させることが求められており、労働者の職業能力開発が重要性を増すとともに、若年者のものづくり離れ等により、円滑な技能の継承が課題となっています。
- ・ 雇用・経済情勢の不透明さは労働条件等にも大きく影響しており、勤労者の各種相談への適切な対応などセーフティネットの確保、総労働時間の縮減や、育児・介護への支援を含めた働き続けられる職場の環境づくりなどが求められています。このため、健康で豊かな生活のための時間の確保や多様な働き方・生き方の選択を可能とするワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた取組が必要です。

#### < 平成23年度の取組方向 >

離職者等を対象とした職業訓練の実施や大型自動車1種免許等再就職に活用できる資格取得への助成など、雇用のセーフティネットとしての職業能力開発に引き続き取り組みます。

津高等技術学校において高等学校卒業者等を対象に地域産業の担い手となる人材を育成するとともに、子どもに対するものづくり体験事業や技能者への研修事業等を通じて円滑な技能継承に取り組みます。

認定訓練校が実施する職業訓練への支援や技能検定の実施等により民間企業における技能向上の取組を支援するとともに、高度な技能を持った技能士の表彰等により、技能尊重社会の形成を促進します。

「男女がいきいきと働いている企業」認証・表彰制度の周知や、受賞企業等の取組事例を紹介することにより、職場におけるワーク・ライフ・バランス推進などの機運づくりを進めます。

労働・生活相談室を運営し、労働に関する相談やメンタルヘルスカウンセリングなどを行い、不安を抱えている勤労者へのセーフティネットとしての支援を行います。

若年者の早期離職防止や就職支援等のため、高校生等を対象として企業現場の見学、インターンシップ等の機会の提供や、働くルールブックの作成・啓発等を行います。

< 主な事業 >

公共職業訓練事業【基本事業名：21201 多様な職業能力開発への支援と技能の継承】

(第5款 労働費 第2項 職業訓練費 2 技術学校費)

予算額：(22) 3 1 4, 4 3 6 千円 (23) 4 1 6, 2 1 7 千円

事業概要：学卒者や離職者、外国人住民等を対象に、就職につながるよう多様な職業訓練を実施します。(施設内訓練11科、委託訓練約60コースを予定)

アビリティUP支援事業【基本事業名：21201 多様な職業能力開発への支援と技能の継承】

(第5款 労働費 第2項 職業訓練費 1 職業訓練総務費)

予算額：(22) 6 6, 2 9 4 千円 (23) 3 8, 7 6 6 千円

事業概要：大型自動車1種免許など、離職者等が就職する際に有利と思われる免許や資格の取得について助成します。(対象資格等10種類)

技能振興事業【基本事業名：21201 多様な職業能力開発への支援と技能の継承】

(第5款 労働費 第2項 職業訓練費 1 職業訓練総務費)

予算額：(22) 3 2, 8 1 4 千円 (23) 3 0, 1 5 1 千円

事業概要：技能検定の普及啓発、技能者表彰制度等により技能の重要性をPRするとともに、優れた技能を持った後継者を育成するための研修会や、子どもたちに“ものづくり”への関心を持ってもらうための講座を開催します。(研修会14回、技能体験講座20講座を予定)

働きやすい職場づくり事業

【基本事業名：21202 いきいきと働くことができる就労環境等の整備】

(第5款 労働費 第1項 労政費 3 労働福祉費)

予算額：(22) 1, 9 0 7 千円 (23) 3, 3 3 3 千円

事業概要：職場での男女共同参画の推進を目的に、男女の雇用均等や女性の活躍支援、仕事と生活の調和および次世代育成支援などを積極的に推進する企業等を認証・表彰するとともに、その企業等の優れた取組内容等を広く効果的に紹介し、就労環境を整備するための機運の醸成をはかります。

ライフ・ワークサポート三重推進事業

【基本事業名：21202 いきいきと働くことができる就労環境等の整備】

(第5款 労働費 第1項 労政費 2 労働教育費)

予算額：(22) 1 1, 7 9 7 千円 (23) 1 2, 5 8 4 千円

事業概要：労働者および使用者が抱える労働問題の解決に向けて、また、離職者等に対するセーフティネットの一環として、「三重県労働・生活相談室」を運営し、労使双方から寄せられるさまざまな相談に対して、助言等を行っていきます。

若者ワーキングサポート事業

【基本事業名：21202 いきいきと働くことができる就労環境等の整備】

(第5款 労働費 第1項 労政費 3 労働福祉費)

予算額：(22) 7, 0 4 0 千円 (23) 1 1, 8 2 9 千円

事業概要：厳しい雇用状況下で、これから就職を目指そうとする若者が職業意識を高め、社会人となり得る力が養成されるよう、社会に出る準備段階の高校生等を支援するとともに、採用された若者を定着させるため、企業の人材育成の取組を支援します。